



社会課題

東日本大震災と原発事故の影響が残り続ける
福島県浪江町の産業復興・地域再生

■取り組み概要

- ✓ 被災後人口が9割減少していた福島県浪江町に復興のシンボルである競走馬トレーニングセンター建設の融資を実行
- ✓ トレーニングセンターを建設することにより、地域で雇用を創出し、観光客も呼び込むことで、地域再生に貢献



M
U
F
G
が
考
え
た
こ
と

震災から10年以上経過する中、人口が震災前の1割にまで減少し、復興が進んでいないため、雇用を創出する新しい事業の創出が必要。

総事業費が大きいため、政府支援や他行の協力が不可欠であり、定期的な面談を重ね、本事業の意義を理解し、協力いただくことが必要。

馬にゆかりのある浪江町に競走馬のトレーニングセンターを建設することで、競走馬に関係する新規雇用を創出。地域に人を呼び戻し、震災からの復興に貢献する。

これまでの融資で培ったノウハウを活用し、政府や他行へ協力を働きかけ、一緒に支援を実現。本プロジェクトへの地域住民の想いをかたちにする。



M
U
F
G
が
実
現
す
る
こ
と

ストーリー3

国・地元・他行を「ツナギ」、被災地域の産業復興・地域再生に貢献

■復興のシンボルとなるトレーニングセンターへの融資を実現

- 東日本大震災と原発事故の影響で甚大な被害を受けた福島県浪江町の人口は震災前の1割にとどまっており、町域の約8割が帰宅困難区域となっていた。この事態を受け、取引先企業*が浪江町と連携し、地域文化を活かした産業復興と地域再生をめざす、競走馬トレーニングセンター建設プロジェクトを立ち上げ。MUFGでは、復興を支援するため、早期にステークホルダーと連携を開始した。
- 事業規模は莫大であり、政府の支援も不可欠。MUFGは経済産業省や浪江町と継続的に対話を重ね、過去最大規模となる補助金交付を実現。他行の参加も得て融資を実行、浪江町において新たな事業及び雇用創出に貢献。

*三鷹支店の取引先企業が福島県浪江町でも事業を行っており、当該企業を起点に三鷹支店で対応した事例

■MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ 被災地の産業復興・地域再生支援
 - 競走馬トレーニングセンター建設プロジェクトの立ち上げ
 - シンジケートローンのアレンジ
 - 政府・自治体との補助金交渉・仲介

社会的インパクト・達成したい状況

短～中期

- ✓ 競走馬の育成・調教関連産業の集積・活性化
- ✓ 雇用機会の安定的な創出と人口流出の抑制
- ✓ 周辺産業・観光への波及効果など、地域経済への貢献

長期

- ✓ 新規事業の育成による被災地の産業復興・地域再生支援

■担い手は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A このプロジェクトは、地元の強い思い、そして社会課題の解決に向けた金融機関としての使命感が結集し、国や多くの関係者を巻き込む大きな取り組みへと発展しました。簡単な取り組みではありませんでしたが、なんとか地元の人たちの思いを実現したいという強い気持ちを持ち推進してきました。

Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A 今後は、ふるさと納税の枠組みを活用し、個人や支援者の思いを受け止める新たな資金調達・応援の仕組みも検討していきたいと考えています。浪江町の復興と未来のために、そして似た課題を抱える地域の希望となるよう、金融機関としての強い使命感を持って今後も取り組みを推進していきます。



三鷹支店の社員